

授業改善書

科目名	保育内容の研究(表現-造形)Ⅱ
担当者	奥西 麻由子

授業の概要

これまで学んできたことを踏まえ、自身の造形感覚に磨きをかける。
身近な素材で、様々な表現方法を試み、作る楽しさを味わうと共に、保育・教育者としての造形活動を支援、指導する為の知識や基礎となる技術を習得する。
また、対外的な場での作品展示の経験を通して、表現の可能性を見出し、造形活動やアートが社会の中でどのような位置づけを持つのかということにも関心を持つようにする。

授業の問題点

全体的には実技の授業であるため、個々の作品制作に関して満足度は高かったようである。しかし、昨年同様「ノートを取りましたか」という項目が低かった。板書で作り方や指示を記載したときは、メモを取るよりもスマホで撮影するといったような形態がとられるようになったように感じるので、学生の自発的な学習を支援するためにも板書等を学生自身がメモできるように、そのような時間を取るべきだったかと思う。

授業改善の課題・方策

① 板書の工夫

図工室での授業形態ではあるが、具体的な授業内容、方法等を板書することで、より明確に現在学んでいることが明らかになると思われる。今後は板書も活用していく。

② プリント配布の工夫

実技の授業なので、作品制作過程等のプリントを配布することはあったが、それ以外の資料などは配布することが少なかった。予習、復習、さらに他の造形的な活動への展開等を充実させるために合わせてプリントも配布することが考えられる。授業の内容、課題説明、またワークシートなどを用いて学生の主体的な学びを実現していく。

その他